



一般社団法人 日本アマチュア無線連盟

渡島檜山支部報

<https://www.jarl.com/ohs/>

第 53 号

令和 7 年(2025.8.13)

■発行責任者

JARL 渡島檜山支部長

佐々木 朗 JH8CBH

函館市銭亀町 210-13

■第 50 回 JARL 渡島檜山支部大会のご案内

令和 7 年度JARL渡島檜山支部大会・ハムの集いは、今年も北斗市で開催いたします。函館近郊の皆さんはもとより、管内、管外各地よりのご参加を心よりお待ちしております。50回を記念し、ささやかですが、先着 60 名様にプレゼントを用意しております。

・日時 令和 7 年9月14 日(日) 午後1時～午後4時30分 (受付開始12時30分)

※昼食を済ませてから、ご来場ください。

・会場 北斗市農業振興センター(北斗市東前 74 番地の 2)

※地図、アクセスは、最終頁



【内容】業務会計報告、意見交流、津軽海峡コンテスト入賞者紹介、南極観測隊員氏家宏之さんの講演(最終頁参照)、総合通信局職員による電子申請の説明、新企画「この話をしたかった!交流会」、あげますくださいコーナー、ハンディ機の抽選

1.新企画では当日みなさんからいくつかのテーマの中から選んでいただき、自分の参加したいグループで交流を深めていただきます。

2.あげますくださいコーナーではシャックで不要なものや終活での整理品、無線以外でもリユース可能な品物を受け付けます。量が多い場合は、事前の回収も検討します。

3.ハンディ機 1 台の抽選 参加資格は JARL 会員であり、当選後 1 年以内にその無線機を使って約 100 局の交信を行う約束ができる方。

4.QSLカード展示ではカードをお持ちの方は、1 枚をご持参ください。展示後、1 名に記念品を差し上げます。

※その他 ・前夜祭の案内は、最終頁に記載しています。

・ビューローへ送るカードがあれば、お持ちください。大会終了後に直ちに発送いたします。

・ネームプレートをお持ちの方はご持参ください。お持ちでなければ支部で用意します。

・余った年賀ハガキや、書き損じのハガキなど、ご寄付していただけると幸いです。

思ったことが現実になると信じて

日本アマチュア無線連盟渡島檜山支部

支部長 佐々木 朗(JH8CBH)



11年周期の太陽黒点の増減の変化によると、今年は、ピークを迎え、お空のコンディションも最高のはずですが、実際のところハイバンドもシーンとしていることも多いように感じますが、皆様、いかがでしょうか。

日頃より、支部の事業に対しまして、ご理解とご協力を戴いておりますことに、心よりお礼申し上げます。

令和7年度は、新たに役員になっていただいた方を入れて 10 名のスタッフが中心になって支部運営をしております。年度末反省を受けて、会員の皆様と協力・連携しながら、今年も渡島檜山支部運営のリーダーシップを執らせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

さて、今年亡くなられた野球界のレジェンド長嶋茂雄さんは、「いつもずっと思っていることは、現実になっていきます。」という言葉を残しています。「アマチュア無線は、高齢化が進み、いずれやる人がいなくなる。」と考える方もいるかもしれません。また、「アマチュア無線の社会的貢献、体験運用などの機会も広がり、これからますます発展する要素がある。」と考える方もいるでしょう。もちろん、私は後者の考えです。気持ちのあり方で、それぞれのアマチュア無線への接し方も、周囲へのPRも変わってくるように思います。アクティブな時もありますが、ちょっと無線から気持ちが離れる時もあるでしょう。そんな時、ふと初めてマイクを握った時の感動を思い出しながら、アマチュア無線の楽しさをかみしめていただければと思います。

今年度は、皆様のご協力により、フォックスハンティング、特別記念局運用、摩周丸公開運用、非常通信伝達訓練、蔦屋でのニューカマー対象の行事を実施してきました。

個人で楽しめる趣味ではありますが、各行事に集った仲間の楽しい笑顔、真剣に取り組む表情が光っていました。後半も、皆さんに参加してみたいくなるような事業を展開して参りますので、引き続き、どうぞご支援をよろしくお願い致します。

ご挨拶

日本アマチュア無線連盟

会長 森田 耕司(JA5SUD)



日頃より、日本アマチュア無線連盟の活動ならびにアマチュア無線の発展と支部活動にご尽力いただき、心より御礼申し上げます。

会長就任以来、JARL にとって真の意味での「新時代の到来」となるようなクリーンな事業運営に努めるべく「積極的な活動と情報発信」「組織運営の透明化」を2本の柱として活動をすすめて参りました。

さて、JARL は今年99周年を迎え、来年には100周年を迎えます。再来年にはアマチュア無線100年となり、記念すべき年が続きます。

この機会をアマチュア無線にとって重要な期間と捉え活動をすすめ、皆様におかれましてアマチュア無線を楽しんで頂くとともに新たな仲間を迎えるべく活動し、次の 100 年に向けて、新たなスタートを切るべく進めて参ります。

引続き活動をすすめて参りますので皆様のご支援ご協力をお願い致します。

ご 挨拶

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟

北海道地方本部長 正村 琢磨(JH8HLU)

渡島檜山支部の会員の皆様には、日頃から当連盟の事業に際してご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。また、公開・体験運用をはじめ、積極的なアマチュア無線の普及と会員拡大のための各種事業を展開し、アマチュア無線とJARLの発展への貢献に対して敬意を表させていただきます。



さて、本年6月22日に第14回の定時社員総会が東京の秋葉原で行われました。社員の皆様には、慎重にご審議いただき、いくつかの議案が可決されるとともに、組織改革に関するいくつかの議題が否決されました。

時代や社会の変化に合わせた組織の改革は必然です。しかし、改革にあたっては、あせることなく、地域の実情や組織の特徴などを踏まえたうえで、時間をかけた議論と説明、そして、会員の皆様のご理解を得ることが必要ではないかと、総会を終えて感じているところです。

また、JARLは1926年の設立から来年設立100周年を迎え、再来年はアマチュア無線100周年と記念の年が続きます。100周年の記念事業については、今後、100周年記念サイトやJARL NEWS等を通じて、随時情報が発信されます。この記念すべき節目の年をJARL会員の皆様だけではなく、アマチュア無線家の皆様でお祝いいただくとともに、アマチュア無線の今後の発展へのきっかけにしていきたいと思えます。

そして、渡島檜山支部大会の翌週の20日、21日には、第8回北海道ハムフェアが札幌市で開催されます。現在、実行委員会では、ご来場の皆様楽しんでいただけるよう日々準備を進めているところです。渡島檜山支部の会員の皆様には遠距離とはなってしまいますが、お時間がございましたら、ぜひお誘い合わせの上、会場に足を運んでいただき、2年に1度のイベントを楽しんでいただきたいと思えます。

アマチュア無線の楽しさ知っているのは、我々アマチュア無線家です。渡島檜山支部の会員の皆様には、アマチュア無線の素晴らしさを語っていただき、仲間を増やしていただくことをお願いするとともに、会員の皆様のご健勝と渡島檜山支部の益々のご発展を祈念してご挨拶とさせていただきます。

ご挨拶

日本アマチュア無線連盟青森県支部
支部長 岡田 竜也(JQ7ATB)



渡島檜山支部のみなさま、いつも大変お世話になっております。JARL 青森県支部長の岡田(JQ7ATB)です。暑さ真っただ中のこの頃ですが、いかがお過ごしでしょうか。季節柄、暑くなると体調を崩しやすく、熱中症や食中毒が流行します。皆様におかれましても体調を崩されぬよう、お体ご自愛ください。

3か月以上前の事になりますが、5月10日～11日には、JARL 渡島檜山支部と青森県支部の共催事業であります「第23回津軽海峡コンテスト」が開催され、60名の方にログ提出を頂きました。ご参加いただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

支部対抗部門につきましては、僅差にて青森県支部が勝利を収めることとなりましたが、年々その差が縮まってきており、今年は優勝トロフィーが海を渡るのではないかとひやひやしながら集計作業を行ってまいりました。また、コンテストに対するご意見も多く頂戴しており、今後のより良いコンテストづくりに生かしていきたいと考えております。

また、JARL 渡島檜山支部の支部大会が9月に「北斗市農業振興センター」にて開催されると伺っております。今年もお伺いさせていただく予定ですので、皆様とお会い出来ることを楽しみにしております。ぜひお声がけ頂ければ幸いです。なお、青森県の支部大会は、9月28日



第52回 J A R L 青 森 県 支 部 大 会 & ハムの集い
令和6年9月29日 於 ハ戸市総合福祉会館 (はちふくプラザねじょう)

(日) 10時より青森県弘前市の「泉野多目的コミュニティ施設(青森県弘前市大字泉野3丁目6番地2)」にて開催されます。JR弘前駅より路線バスで25分ほどの場所にあります。ぜひお越しください。

令和6年度の活動

青少年のための科学の祭典

8月25日に函館市民会館で行われた青少年のための科学の祭典において、支部ではラジオ作りブースを出展しました。

子どもたちにモノづくりの楽しさを伝えようと20年以上参加している我が支部伝統行事の一つです。ゲルマニウムラジオから始まったラジオ作り教室も、技術の進歩とともに変化し、本年度は、スピーカーで鳴る FM ラジオを作りました。DSP の技術が取り入れられた回路で、感度、音質も十分満足できるものでした。

今回は、21名の青少年(元青少年も含む)がラジオ作りに挑戦し、全員完成させ、持ち帰ることができました。平均して1時間程度の作業時間ですが、完成して音が鳴った時の子どもたちの笑顔は、今も昔も同じ。インストラクターもホッと、安心できる瞬間です。

この時は、まだこの中からアマチュア局が誕生することは予想もしませんでした。それが現実になり、現在渡島檜山支部の空に花を添えることになった記念すべきラジオ作り教室でもありました。



支部大会・ハムの集い

9月15日には、北斗市農業振興センターで第49回渡島檜山支部大会・ハムの集いが行われました。

青森県から JQ7ATB 岡田青森県支部長を始め2名、他支部以外の道内からの JF8EPR 中島地方本部幹事を含む3名を入れて、合計57名の参加のもと、盛大に開かれました。

社員の JE8KQR 大國さんより、最近の総通の動きなどの情報提供をいただきました。

今回のハムの集いでは、JA8WNR 清水さんを司会に、「JA8 時代を振り返る」というテーマで、JA8ANQ 酒井さん、JA8EJK 河原さん、JA8KUT 木村さんをパネラーに、パネルディスカッションを行い、当時にアマチュア無線の繁栄の様子が語られました。その後グループごとに行われた話し合いでは、アマチュア無線を長続きする秘訣などが話し合われました。

あげます・くださいのコーナーは、予想をはるかに超える量の持ち込みがあり、会員の皆さんに深くお礼申し上げます。集いの終了後に残っている物はなし。全てが新しい持ち主のもと活用されることになりました。

また、抽選も思い出に残るものとなりました。抽選に当選した岩井さん(当時は無線の免許はまだありませんでした。)はその後、すぐに無線従事者の資格を取り、JM8UUY のコールを取得。さらに今では支部の会計幹事も務めてもらっております。

課題も多く残る支部大会でしたが、次年度に反省を生かして、よりよい大会運営にして参りたいと思います。



函館市防災フェスタ見学

10月6日、支部非常通信ボランティアは、研修として、函館市緑の島で開催された函館市の防災フェスタの見学を行いました。

見学では、海上保安庁、消防、警察、自衛隊などが災害時の初動時にどのように動くかのデモンストレーションが行われました。

見ていて一番大切なことは、的確に指示を伝え、気持ちを一つにして行動することだと感じました。指示には、現場で直接声で、メガホンなどでありましたが、どの部隊も携帯無線機を有効に使っていたことが見受けられました。

その後、それぞれの舞台の特殊車両の



見学や衛星通信車を見学しました。最後に自衛隊のカレーの炊き出しをいただき、解散としました。

渡島檜山支部発足 50 周年記念式典

北海道が8つの支部になって50年を迎えたことを祝し、11月9日に、函館市湯川町の畑野商店内ゆったりーなにおいて、渡島檜山支部発足 50 周年記念式典を挙行いたしました。

今回の式典は、大先輩ばかりではなく、最近開局された方も参加するなど、とても意義のある集まりとなりました。

この式典には、支部内外から18名が参加しました。席上、5期10年に渡って渡島檜山支部長を務められた JE8HLA 伊藤秀夫様に表彰状が贈呈されました。

50 周年のスライドショーでは、JH8HLU 正村北海道地方本部長のメッセージを始め、この10年間の行事の写真映像が流され、とても盛り上がりました。



また、式典に合わせて、支部発足 50 周年記念誌も発刊されました。

会員の皆さんからの投稿では、アマチュア無線の草創期の様子を語る貴重な資料や体験もたくさん掲載されております。各局短信、支部の歴史などでは、渡島檜山支部が発足した昭和 49 年からの支部事

業をまとめました。この 10 年間の支部大会の写真、特別局の Q S L など 124 ページの冊子ができました。

まだ残部があります。手元に冊子がない支部会員は、ご請求ください。お送りいたします。また支部会員以外については、実費にてお渡しすることができます。



消防署見学

1月19日、支部非常通信ボランティアでは、研修会として、函館市消防本部を訪問し、通信指令室、消防車両の見学を行いました。

消防の通信では、管内に山間部もあることから、合併した地域には、中継局を置き、不感地帯をなくしているということでした。また、隣接する消防とも共通波でいつでも無線通信ができるようになっているということです。

通信指令室は、テレビなどでは見かける映像はよくありますが、目の前で、119番通報の入電ランプが付く、緊張感のあ



る見学となりました。

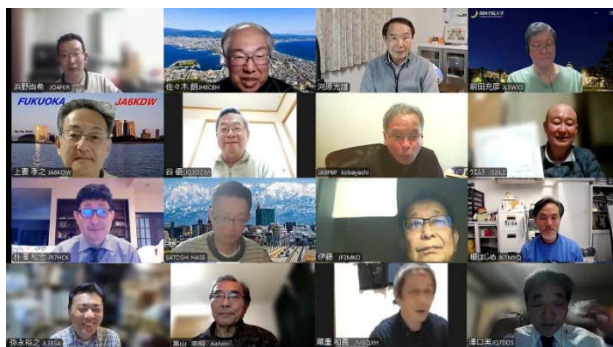
今回は、消防隊員から直接話を聞き、受け答えもしていただき、とても有意義な研修会になりました。

危機管理の大切さを学ぶ貴重な機会となりました。

モールス講習会

1月1日から3月31日まで90回に渡り、佐々木支部長を講師に、ZOOM を使ったモールス講習会が開催されました。この講習会には、地元の会員をはじめ、全国から15名が参加しました。

1月の時点では、試験用に符号は点と棒で覚えていた程度で実際の音の信号は受信できなかったという参加者たちですが、毎日欠かさず出席し、また復習も繰り返し、符号が取れるようになりました。3月になり、お空にデビューされた方も多く、この3か月でモールスの通信の魅力はしっかり伝わったようでした。



ビギナーズセミナー

最近開局された方が数局いることから、開局間もない方、そして、これからアマチュア無線を始めようとする方を対象としたビギナーズセミナーを2月15日、亀田交流プラザで開講いたしました。

話題提供では「最近開局して感じたこと」

JM8RWB 池内さん、「アマチュア無線のあゆみ」JH8CBH 佐々木支部長、「海外との交信の楽しみ」JA8EJZ 斎藤さん、「FT8 の楽しみとハムログの活用」JA8FHM 佐藤さんに話をいただきました。その後、交流会となりました。交流では、デジタル通信のこと、海外通信の面白さのこと、あまり遠慮せずローカル局の支援を仰ぐこと、南極観測隊との交信のこと、真空管ラジオのこと、免許取得のことなどが話題としてでました。

新聞を見て参加したという高校生もあり、今後につながるセミナーとなりました。



ロールコール

会員のアクティビティーを高めるため2021年10月8日から始まったロールコールも、8月2日で79回を迎えました。引き続き、毎月第一土曜日の午後8時から144MHzのFMで行って参ります。

支部からの連絡、会員の皆様からの近況報告をしております。

回数	日付	キー局	参加局数
66	7月14日	JH8CBH	16
67	8月3日	JE8OGI	15
68	9月7日	JH8NNW	12
69	10月5日	JM8OTS	16
70	11月2日	JK8XBR	16
71	12月7日	JE8OGI	17

臨時	12月31日	JA8DHR	19
72	1月4日	JH8NNW	23
73	2月1日	JR8CSY	17
74	3月1日	JH8EEO	21
75	4月5日	JE8MXZ	23
76	5月3日	JA8VKV	21
77	6月7日	JK8TYW	13
78	7月5日	JA8VKV	21
79	8月2日	JI8PLY	20

また、12月31日の紅白合戦終了後に行われた年越しロールコールも恒例化しつつ、一年間を振り返りました。

また、年越しロールコールまたは1月のロールコールに参加された方には、支部からささやかながら記念品を贈らせていただきました。

OHS(Oshima Hiyama Shibu) メーリングリスト

会員が自由に交流できる OHS では、支部や皆さんの情報で、盛り上がっています。また、会員の実践からその輪が広がっていったものもあります。ちょっとしたほしいもの、だれかに譲りたいものなどのやりとりも行われております。

昨年の4月から、8月5日現在で744件の書き込みがありました。

書き込みはもちろん歓迎ですが、見ていなくても、貴重な情報がたくさんだと思います。jarl 転送アドレス(投稿はできません)を含む、メールをお持ちの支部会員であれば、どなたでも登録することができます。

令和 7 年度支部役員紹介

● 支部長 佐々木 朗(JH8CBH)函館市

中学校3年生で開局。今年で開局50年を迎えます。子どもの頃、ローカル局の皆さんに育てられた恩返しの心で、支部運営に尽力して参ります。賑やかだったあのころのお空を取り戻すよう、努力いたします。オールバンドにオンエアしております。CW大好きです。

● 総務幹事 小野田 伸(JA8VKV)函館市

帯広に住んでいた中3のときに無線を始めてから51年、局免が切れたり復活したりを繰り返し、単身赴任中の5年前から継続的に運用するようになりました。昨年4月に函館に戻り、9月に初めて支部大会に参加しました。支部のことはほとんど分からない状態で今年4月役員に推薦され、できる範囲でということで引き受けました。分からないのをいい事に(笑)、新しいことをどんどん提案していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

● 常任幹事 中澤 隆行(JH8NNW)函館市

引き続き、役員を務めさせていただきます。できるだけ、全ての行事に参加し、お手伝いしていくことが私の務めと思っております。マイクを握るのは大好きですし、支部の行事で会員の皆さんとアイボールするのもとても楽しいです。

今年は、FM いるかに出たのが一番緊張しましたが、これもいい思い出です。これから多くの方にアマチュア無線を楽しんでもらえるよう頑張ります。

● 会計幹事 岩井 孝宏(JM8UUY)七飯町

昨年、伝統ある渡島檜山支部大会に初めて参加する機会をいただきました。幸運にもハンディ機を当選することができ、これをきっかけに無線の世界へ一歩を踏み出しました。その後、第三級・第二級の無線技士免許を取得しながら、支部会計のお手伝いをさせていただいておりましたが、このたび正式に会計を務めさせていただくこととなりました。支部会員の皆様に心より感謝申し上げます。

● 幹事 村田 隆(JE8OGI)函館市

昨年から、引き続き、幹事を務めさせていただきます。デジタル系が好きで、パソコンと毎日格闘しています。8月3日の薦屋の体験運用では、多くの子どもたちに運用していただいて、楽しい時間を過ごすことができました。

子どもたちの楽しい交信の様子を見て、自分もアマチュア無線の楽しさを再発見したような気持ちになりました。微力ながら、支部発展のため、務めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

● 幹事 船橋 幸三(JK8XBR)函館市

私自身、自慢できるものは何もないです。ただ、皆様の意見交換など、日常の活動の様子を聞くのが楽しみです。個人として色々な考え方があるのだと噤(つぐ)む事態に感じる準備はいつも入念に思っている次第です。いつも爽快な気分です。毎日過ごしたいと思っています。

● 幹事 山本 正巳(JI8PLY)七飯町

令和4年に再開局しました。以前は出た事の無いコンテスト等支部長の指導のもと挑戦しています。支部行事には参加を心掛けています。アマチュア無線は最近のモードよりも昔からあるCWとかSSBが好きです。支部各局の皆様宜しくご指導お願いします。

● 幹事 三浦 雄美利(JA8WVV)函館市

昭和49年に開局し、HFからSHFまでアクティブにONAIRしていましたが、最近は無線環境が整わず、なかなかONAIRできずにあります。JARLには開局時からお世話になっておりましたが、今年度役員の打診を受け、引き受けさせていただきました。休日に休みが取れない仕事に就いていることもあり、支部の催しへ直接の参加等はなかなかできませんが、間接的にでもできる範囲でお手伝いできればと考えております。

● 幹事 西川 貴博(JK8TYW)函館市

今年度から役員幹事を拝命したJK8TYWこと西川貴博と申します。趣味はマラソンとアマチュア無線で、日々のランニングで心身を整えつつ、電波の世界にも魅了されています。

特にCW(モールス通信)やD-STARといったデジタル通信モードに興味があり、技術の進化と伝統の両方に触れながら楽しんでいきます。

微力ながら支部のために貢献したいと思っておりますので、何卒宜しくお願い致します。

● 幹事 清水 深海(JA8WNR)北斗市

各行事、イベントに積極的に参加しており、会員皆様にはご支援頂き感謝申し上げます。昨年度は相談役を承り、本年度は役員としての相談役。一年間様子を見ており役員、会員の皆様と共に運営において軌道修正しながら進んで参ります。JARL 渡島檜山支部の行事などは北海道内支部で注目されており(行事が多彩)、会員の皆様の御協力ご支援の賜物であり感謝申し上げます。アマチュア無線 楽しまれて頂きたいと思います。会員の皆様のご健康とご多幸、他方面でのご活躍祈願申し上げます。

令和 7 年度支部運営方針

最終目標

JARL 及び渡島檜山支部の発展とアマチュア無線の普及

柱1

積極的なイベント
開催で、支部会員
の交流、技能向上
を図る

柱2

アマチュア無線の
普及のため、出会
いの場を積極的に
作っていく。

柱3

社会貢献の礎を築
くため、非常通信
などで関係団体と
連携する。

具体的事業

※構想中の事業も含まれます。

- ・フォックスハンティングの開催(柱 1)
- ・北海道ハムフェア特別記念局の運営(体験局)(柱 1,2)
- ・非常通信体制の確立(柱 3)
- ・救命講習会の開催(柱 3)
- ・蔦屋イベント(柱 2)
- ・青少年のための科学の祭典(柱 2)
- ・支部大会・ハムの集い(柱 1)
- ・支部報発行(柱 1)
- ・モールス講習会の開催(柱 1)
- ・青森県支部との交流(柱 1)
- ・支部・津軽海峡コンテストの開催(柱 1)
- ・ロールコールの開催(柱 1)
- ・講習会への支援(柱 2,3)
- ・北海道新幹線開業10周年特別局の招致・運営(柱 1,2,3)
- ・監査指導業務(柱 3)
- ・ガイダンス局の運用(柱 3)
- ・メーリングリスト・ホームページ(柱 1)

業務無線・アマチュア無線・各種アンテナ工事

ドリーム レディオ システム

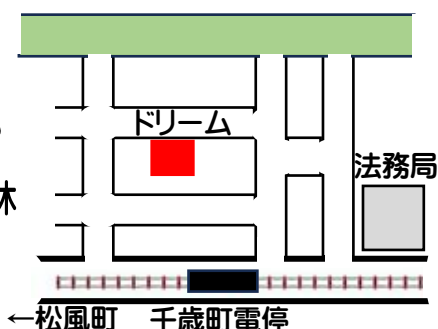
040-0032 函館市新川町 22-5

営業時間 9時から18時(日、祝は16時) 不定休

電話 090-8908-2825 0138-76-1610

Email: je8ibl@msc.ncv.ne.jp

HP: <http://www.ncv.ne.jp/~je8ibl/>



令和 7 年度支部事業計画

日付	内容
4月5日	定例ロールコール(キー局 JE8MXZ)参加 23 局
4月6日	第 1 回役員会 亀田交流プラザ
5月3日	定例ロールコール(キー局 JA8VKV)参加 13 局
5月10日	第 23 回海峡コンテスト(～11 日) 青森県支部と共催
6月7日	定例ロールコール(キー局 JK8TYW)参加 13 局
6月8日	フォックスハンティング大会・懇親会 見晴らし公園
6月20日	北海道ハムフェア特別局運用(～29 日)
6月21日	望洋塾での公開運用
6月22日	社員総会(支部長出席)東京秋葉原
6月28日	北海道ハムフェア特別局公開運用(～29 日) 摩周丸
7月5日	定例ロールコール(JA8VKV)参加 21 局
7月6日	非常通信伝達訓練・報告会 第 2 回役員会 サンリフレ
7月8日	救命講習会 支部会員 10 名参加 サンリフレ
7月14日	FM いるか出演(アマチュア無線の PR) 中澤・小野田
7月21日	アマチュアガイダンス局運用～9 月 13 日
8月2日	定例ロールコール(JI8PLY)参加 20 局
8月3日	アマチュア無線の楽しさ大発見 蔦屋イベント 62名来場
8月10,17日	第四級アマチュア無線技士養成講習会支援
8月13日	渡島檜山支部報発行
8月31日	青少年のための科学の祭典(ラジオ作り)
9月6日	定例ロールコール
9月6日	第 33 回渡島檜山支部コンテスト～7 日
9月13日	支部大会前夜祭 湯の川畑野商店
9月14日	第 50 回支部大会 北斗市農業振興センター 13:00
9月28日	JARL 青森県支部大会参加 弘前市
10月4日	第 3 回役員会
10月4日	定例ロールコール
10月5日	第三級アマチュア無線技士養成講習会支援
11月1日	定例ロールコール
12月6日	定例ロールコール
12月31日	年越しロールコール
1月1日	ZOOM によるモルルス講習会～3/31
1月1日	北海道新幹線開業 10 周年記念特別局(未確定) ～3/31
1月3日	定例ロールコール
1月10日	第 4 回役員会 新年会
1月11日	アマチュア無線体験のための公開運用 蔦屋イベント
2月1日	支部運営の評価アンケート実施
2月7日	定例ロールコール
3月	北海道新幹線特別局公開運用
3月7日	定例ロールコール
3月23日	第 5 回役員会

このほかに、通年で、ホームページ管理、メーリングリスト管理を行っております。

令和 6 年度決算、令和 7 年度予算執行状況報告

科目		6年度決算	7 年度予算額	7年度中間決算	執行率
前年度繰越高		103,302	120,307	120,307	
収入	支部費	125,520	129,370	129,370	
	賞典収入	0	0	0	
	寄付金収入	31,000	20,000	10,000	
	講習会収入	—	0	0	
	受取利息	0	5	0	
	雑収入	54,211	10,000	22,100	
小計		314,033	279,682	281,777	
支出	会議費	3,800	6,000	1,567	26%
	催物費	134,266	60,000	41,189	69%
	渉外費	0	0	0	
	通信費	29,359	38,000	13,733	36%
	交通費	0	0	0	
	消耗品費	6,630	10,000	5,361	54%
	事務印刷費	10,529	5,000	2,185	44%
	コンテスト費	5,628	5,000	0	
	賞典費	0	0	0	
	講習会費	—	0	0	
	非常通信費	3,514	5,000	3,126	63%
	諸会費	0	15,000	0	
	雑費	0	0	0	
	小計	193,726	144,000	67,161	46%
次期繰越高		120,307	135,682	214,616	

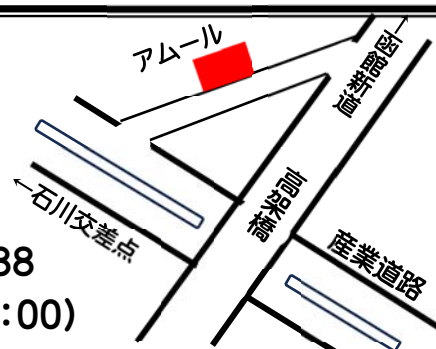
令和6年度決算では、特別会計の一般会計への繰り入れ 31, 621 円、50周年で 73, 186 円支出しております。令和 7 年度は 8 月 5 日現在の執行状況です。

アマチュア無線・業務無線機・防犯器具取扱店
JARL会費受付業務代行店

有限会社 アムール

函館市石川町 72 番地 電話:0138-46-6788

水曜日定休日 10:00~19:00(日曜日は17:00)



フォックスハンティングに参加して

船橋 幸三 (JK8XBR) 函館市

集合場所は函館市香雪園裏駐車場でしたが、一度も行ったことがないので、前日に見学に行ってきました。息子が以前行ったことがあり、私を連れて行ってくれました。その日は風が強く、寒々としていました。

令和7年6月8日、天気は晴れ。参加者数はJARL 渡島檜山支部の会員17名が集いました。

内容は、144MHzの電波を捉え、一時間以内に「キツネ」と「タヌキ」二頭を探す競技です。合言葉は「函館山にキツネはいますか。」でした。参加者は範囲が示された地図を頼りに公園内を移動しましたが、なかなか電波を捕らえることができませんでした。歩き続けるうちに足腰が痛くなり、私自身年齢的な不安を感じてきました。しかし、みんなが頑張っている姿を見て、私も何とか頑張らなければと思い、探し続けました。とはいえ、キツネさんもタヌキさんも上手に化けており、化けの皮を剥がすのは難儀しました。

合言葉「函館山にキツネはいますか。」と尋ねると、「タヌキです。」と答えられ、カードをもらうことができた為、とても安堵しました。その後、続けざまにキ

ツネさんも発見することができたことが嬉しかったです。

最終的に私自身、3位に入賞できてとても嬉しかったです。また、懇親会では参加者全員で焼肉や焼きそばを楽しみながら、すごく美味しく食べることができました。

和気あいあいとした雰囲気でお愛想がとても良かったと思います。

第26回 フォックスハンティングの結果

順位	コール	名前
1位	JH8NNW	中澤 隆行
2位	JA8VKV	小野田 伸
3位	JK8XBR	船橋 幸三
4位	JM8UUY	岩井 孝宏
5位	JR8GTZ	杉本 兼幸

小野田さん、船橋さん、岩井さんは初参加

※今回の🦊は清水 (JA8WNR)さん、
🦉は河原 (JA8EJK)さんのお二人でした。



8J8HAM望洋塾での運用

小野田 伸(JA8VKV)函館市

9月に行われる北海道ハムフェアのアピールとして、JARL 北海道地方本部の特別記念局 8J8HAM の運用が道内 8 支部の持ち回りで行われました。渡島檜山支部はその先発として 6 月 20 日から 29 日まで函館市を中心に運用。20 日から 27 日までは主に銭亀町の望洋塾から、28 日・29 日は摩周丸からの運用でした。

望洋塾は支部長 JH8CBH 宅の隣にあり、CBH 局のアンテナをお借りして HF50W、VUHF10W で運用しました。望洋塾は銭亀町の高台に位置し、津軽海峡をはさんで青森県が望める絶好のロケーションにあります。バーサビームの威力



バーサビーム(タワー上)

はすごく、7 メガ、18 メガ、21 メガでは全国からのパイルアップを受けました。そのパイルを JA8EJK、JA8WNR、JH8NNW、JH8CBH、JA8VKV が華麗にさばいてサービスしていました。そばで見学していた JM8UUY は HF 帯の面白さを体感できたと話してくれました。また、V・UHF で

は JR8CSA が一つ一つ丁寧に QSO していました。

JJ8UDA は楳法華方面へ移動し、



運用は JA8VKV、記録は JM8UUY(手前)

144MHz で運用してくれました。相手局の「特別局運用ご苦労さまです。」の言葉に癒され、とても期待されていることをひしひしと感じました。

渡島檜山支部会員の皆さんで交信していただいた方、ありがとうございました。

QSL カードの発行はハムフェア終了以降になりますが、楽しみにお待ちください。そして、運用にご協力いただいた会員の皆さん、心より感謝いたします。



左から JA8VKV JA8WNR JH8NNW

摩周丸での特別記念局運用

清水 深海 (JA8WNR) 北斗市

●摩周丸での公開運用『8J8HAM』

JARL 渡島檜山支部では、第 8 回北海道ハムフェアを PR する特別記念局『8J8HAM』を、6 月 20 日から 10 日間運用しました。その最終 2 日間は摩周丸での運用となりました。

摩周丸は 1988 年 3 月 13 日、青函連絡船最後の航海を終えた後、産業遺産として保存・公開されています。操舵室(ブリッジ)や無線通信室は当時の状態のまま残され、見学が可能です。その歴史や仕組みを学べるパネル、模型、映像も展示されています。

●公開運用 1 日目 6/28(土)気温 28℃

役員と協力会員は午前 8 時 30 分に集合し、機材や書類を搬入。その後、無線室周辺の甲板上でアンテナ(HF 短波帯短縮ダイポール)の設営を行いました。全員が経験豊富で作業が順調に進み、無事に怪我もなく設営完了。皆さんの充実感と笑顔が印象的でした。

試験電波の発射では最小電力から始め、近隣の船舶や建物への干渉を確認しながら ON-AIR。HF や VUHF とともに函館市近郊や JA 各エリアから多くのコールをいただき、一時パイルアップとなる場面も。まあまあのコンディションで、参加局は時間の許す限り特別記念局の PR に貢献されました。あ

いう間に時間が過ぎ、翌日またの再会を約束して解散となりました。

●公開運用 2 日目 6/29(日)気温 27℃

集合時間は午前 9 時 30 分。この日は函館マラソンが開催されており、一時的な道路通行規制があったため、早めに現地に到着しました。予想通りコンディションは良好で、JA 各エリアから強い信号が入感。特に 28MHz でのパイルアップは見事でした。

また、体験局 4 名(YL1 名)が活発に QSO に挑戦し、記念局に楽しい思い出ができたとのこと。感謝の言葉もいただきました。撤収も準備同様、経験豊富な皆様の協力ですmoothに終了。

摩周丸での運用を含めた 10 日間の 8J8HAM の合計 QSO 数は 1,651 局。次年度も摩周丸から地域の PR に取り組みたいと思っています。



非常通信伝達訓練・救命講習会

佐々木 朗 (JH8CBH) 函館市

●非常通信伝達訓練

JARL 渡島檜山支部では、7月6日に非常通信ボランティアを対象に非常通信伝達を実施いたしました。

このボランティアには支部会員 38 名が登録されており、万が一の災害が起こった時に、自分の可能な範囲で、通信の分野で災害の救援に寄与できるよう訓練や研修を行っております。

この日の訓練では、同日の朝早く大地震が発生し、インフラは寸断され、罹災者が着の身着のまま避難所に集まってきたという想定で、地元の避難所に赴いた非常通信ボランティアが、現地の様子を現地対策本部のある基地局に送るという訓練を行いました。



今回の訓練では、基地局のオペレータは JA8WNR 清水さんが担当、記録は JA8VKV 小野田さんが取りました。訓練には、8 局が参加し、避難所に集まっている人数、怪我の状況、不足物資などの想定情報が本部に伝達されました。

また、この訓練には、北斗市の防災担当

の職員 2 名も、訓練の様子を身に来ていただきました。

災害はいつ発生するかわかりません。しかし、訓練を通して、私たちアマチュア無線は、災害時に強い通信手段であることを改めて確認すると共に、訓練の大切さを感じました。

●研修会・報告会

この日の午後から行われました研修会・報告会では、JA8CUH 佐藤 佳明さんを講師に、1993(平成5)年、北海道南西沖地震により甚大な被害が発生した奥尻町にいち早く駆け付け、アマチュア無線により町内の交通の秩序を守った経験を伺いました。



また、奥尻の円滑な通信を確保するために七飯にあったレピータを上ノ国の夷王(いおう)山に移したという話も聞きました。

また、後半は、JA8PDG 金子 紀行さんを加え、現在、函館市汐首岬の頂上付近に設置されている JA8WW(439.66MHz)の管理について説明をしていただきました。商用電源を使わず太陽光のみを電源

とするレピータですので、長期間に渡っての停電でも、その機能が失われることはありません。

しかし、自然環境は厳しく、定期的な点検、また、バッテリーの交換など、安定的な動作維持には、気を遣うことも多いということです。



最後に、「せっかくあるレピータですので、どんどん使ってください。」と言葉をいただきました。

報告会では、JA8VKV 小野田総務幹事の方から、その日に伝えられた訓練情報が披露されました。正確に伝えるには、復唱することが大切であるなどの反省点も挙げられました。

●救命講習会

また、翌々日の8日には、函館市消防本部職員の及能さんを講師に、普通救命講習会が開催され、支部会員10名が参加しました。

講習では、胸骨圧迫(心肺蘇生)や喉つまりの場合の対応、AED の使い方を学びました。

報道番組などでは、救命措置は、見かけることがありますが、実際にやってみると、胸骨圧迫を続けるにはかなりの体力がいることがわかりました。また、AED についても、自分たちの地域ではどこに

あるのかなどを知っておくことが大切であることもわかりました。



呼吸がない場合は、救急車が来るまで救命対応で、命が助かるかどうかが大きく左右されます。また、措置が早かったほど、回復したあとの社会への復帰の割合も高くなっているそうです。

今回の研修では、応急処置の大切さを学びました。

また、救急車の出動台数は、増えているそうで、函館消防の管内でも、昨年一年間で約1万6000回の出動数があるそうです。命に関わる時の119番は、もちろんですが、不要不急な119番は避け、救急車が必要な方のところに1秒でも早く到着できるよう、配慮いただければということでした。



蔦屋書店イベント「アマチュア無線って面白い！」

小野田 伸(JA8VKV)函館市

8月3日に蔦屋書店2階ホールにて行われたこのイベント。アマチュア無線をあまり知らない人を対象に興味を持ってもらおうと言う目的で開催されました。テーマは二つ。

●テーマ1

「モールス符号の面白さを知ろう」

ミニ講演は、JA8VKV が担当し、身近なモールス符号やその歴史、モールス符号のクイズ、そしてモールスの達人登場などで盛り上がりました。モールス体験コーナーでは、自分が打った文字がモニターに表示されるのを見て興味津々でストレートキーを操作していた小学生もいました。

●テーマ2

「片手に持つトランシーバーで遠くと交信」

ミニ講演は JE8OGI が担当し、WIRES-X の仕組みの話を語り、体験コーナーではインターネットを経由している所と話せる WIRES-X の面白さを

皆さんが楽しんでいました。イベント開催中に、2 エリア 3 局、6 エリアと 7 エリア各 1 局の計 5 局とつながりました。

このほかにも、最新の HF トランシーバー、ハンディ機の数々も展示し、小型で高性能の機能に驚いている方もいました。

大型スクリーンには、アマチュア無線の楽しみや社会貢献に関わるビデオも上映されました。

会場には、支部会員も数名、そして過去に無線をやっていたが、今はやっていない方も何人か訪れ、その中には WIRES-X を体験して無線の面白さにあらためて気づいた方もいらっしゃいました。

当日かけつけてくれ、お手伝いをしていただいた会員の方々には本当に感謝しています。ありがとうございました。



監査指導委員会だより

今年度の、監査指導委員は、委員長 JR8ARS 宮嶋 終(おさむ)、JK8TYW 西川 貴博、JA8WNR 清水 深海(ふかみ)、JH8CBH 佐々木 朗の 4 名体制で業務を行って参ります。

監査指導委員会は、JARLの規定により、次のことを行います。

(1) 電波障害に関する業務

- ① アマチュア局による電波障害に関する相談受付・対策等
- ② アマチュア無線機への電波障害に関する相談受付・対策等
- ③ 電波障害に係る実地調査

(2) アマチュアバンド内における進入電波のモニター

(3) アマチュア無線に関する育成指導

(4) JARLガイダンス局の運営および管理

電波障害、アマチュアバンド内の運用など気になることがありましたら、監査指導委員へお申し出ください。支部役員でもかまいません。必要に応じて、関係機関とも連携しながら、問題の解決に当たっていきます。不法と思われる局に対して、からかったり、挑発したりする行為は厳に慎まれるようお願いいたします。緊急なもの、悪質なものについては、すぐに対応をして参ります。情報提供をお願いします。

☆☆決まりを守って正しい運用をしましょう。☆☆

1 工事設計と実際の無線機が合っていますか。

技術適合の無線機は、届け出のみで 사용할 ことができます。無線機を購入、撤去した場合は、手続きをお願いします。

2 コールサインを正しく送出していますか。

講習会では、呼び出し符号をきちんと送信することの大切さを強く訴えております。関係と思われる事業所にポスター掲示などもお願いしております。コールサインを送出する文化を道南から発信していくようあらゆる機会に各方面に呼びかけていきます。

3 空中線電力は守られていますか。

免許状の空中線電力が50W の場合、ハイパワー機のパワーをしぼって運用しても、違法となります。相応の資格の取得、または、ライセンスに合った無線機の使用で、堂々と運用できるようお願いいたします。

4 呼出や応答、また通信の内容は適切ですか。

アマチュア無線は、誰が聞いているかわかりません。また、必ず誰かがワッチしているという前提で通信をしたいものです。アマチュア無線の免許をこれから取ろうという方にも、「アマチュア無線ってかっこいいなあ。」と思われるような通信をお願いします。

5 無線局免許状の有効期限は大丈夫ですか。

免許状の情報(呼び出し符号、市町村、資格)は、インターネットで公開されています。
(監査指導委員長 JR8ARS 宮嶋 終)

第 32 回JARL渡島檜山支部 48 時間コンテスト結果

(2024 年 9 月 6 日～8 日実施)

【管内局】	★JR2AWS	4	JH2LSF	1
マルチバンドの部	★JH0IGG	4	JA4MRL	1
★JH8CBH 14,620	★JH7UJU	3	JG1BGT	1
★JK8JZQ 651	(参加局 5 局)		JR5DPV	1
(参加局 2 局)			JH4FUF	1
	7MHz の部		JR0ZIM/O	1
3.5MHz の部	★JH7KSU	10	JA1WSE	1
★JR8CSA 49	★JA2ULV	4	JA6CVR	1
(参加局 1 局)	★JS2RGH/7	4	JE0SYZ/O	1
	★JE3IFZ	3	JA1BYI	1
7MHz の部	★JA6FXL	3	JH1MTR/4	1
★JA8FHM 4,635	JN1ALL	3	JA9XAT	1
★JE8LIM 36	JA6HXW	3	JA1YEV	1
★JA8EJK 1	JJ1VQP	3	JR2BYJ	1
(参加局 3 局)	JS3COV	2	(参加局 36 局)	
	JA1JUR	2		
144MHz の部	JA7SLK	2	14MHz の部	
★JH8EAW/8 32	JJ3TTH	2	★JK3HFN	1
(参加局 1 局)	JF2FIU	2	(参加局 1 局)	
	JA6FOF	1		
1200MHz の部	JQ6FQI	1	144MHz の部	
★JA8EJZ 2	JF1DFA	1	★JA8KGG/8	21
(参加局 1 局)	JEOANW	1	(参加局 1 局)	
	JE1ENI	1		
【管外局】	JH4LGA	1	430MHz の部	
マルチバンドの部	JM8FEI	1	★JA7AWM	22
★JG1CFO 20	JH1NXU	1	(参加局 1 局)	
★JA8IBU 12	JJ1VXS/1	1	合計(参加局 52 局)	

★は入賞者

※同じ点数の場合は、最終交信の早い時刻で順位を付けました。

※入賞者は、支部大会で紹介させていただきます。

家財整理・終活・引越・解体・お焚き上げ

便利屋オタスケスーパーマン

函館市湯川町3丁目3番26号 畑野商店内

59-1616

青森県・渡島檜山両支部共催「第 23 回津軽海峡コンテスト」結果

(2025 年 5 月 10 日～11 日実施)

【管内局】	個人局 50MHz の部	★JL8LGW	24○		
社団局マルチバンドの部	★JA8OW	301○	★JA8EJZ	4○	
★JH7ZZC	1,376○	★JR8CSA	69○	(参加局 3局)	
★JE7YSH/7	1,360○	★JP7UIV	60○		
★JA7YAZ	928	★JA7KHQ	39○	【管外局】	
JJ2YPG/8	150	★JH8UUR/8	4○	社団局マルチバンドの部	
JR8YME	95	(参加局 5局)		★JA7YAF	1
JR8YOI	95			(参加局 1局)	
(参加局 6局)	個人局 144MHz の部				
個人局 マルチバンドの部	★JH7OYV	1,755○	個人局 マルチバンドの部		
★JA8FHM	6,240○	★JE8SBP/7	1,066	★JR7FEK	4
★JN7EQY/7	5,915○	★JR8FGY	570○	(参加局 1局)	
★JH8CBH	4,275○	★JE7JXA	432○		
★JA8EJK	2,755○	★JJ7VEC	240○	個人局 144MHz の部	
★JH7LMU	2,678○	JL7SFU/7	126○	★JR7HCK/7	319
JA8WNR	1,734○	JQ7ATB	100○	★JO7XBX/7	24
JM8RWB	1,544○	JM8VBC	78○	★JL7XNP/7	4
JR7BVQ	1,044○	JM8UUY	60○	(参加局 3局)	
JR7WKJ	1,008○	JA7AXP	18		
JH8EEO	858○	JK8XBR	6	個人局 430MHz の部	
JA8VKV	616○	(参加局 11局)		★JQ7COV/7	144
JH8NNW	580○	個人局 430MHz の部		★JQ7DDS	9
JN7HNA/7	500○	★JI7GWD	550○	(参加局 2局)	
JG8QYH	486○	★JK8JZQ	531○	個人局 1200MHz の部	
JK8TYW	459○	★JA7CUA	468○	★JA7ERJ/7	1
JJ8PLY	360○	★JR7GLV	440○	(参加局 1局)	
JR8ARS	168○	★JA8FTZ	423○		
JK7KHE/7	119	JR8DAG/8	56	【支部対抗】	
JE8NTJ	90	JQ7BIU	15	★青森県支部	97
JG8KKC	36	(参加局 7局)		★渡島檜山支部	83
(参加局 20局)	個人 1200MHz の部		(参加局総数 60局)		
	★JA7AWM	69○			

★は入賞者 ○は支部対抗対象者

※入賞者は、それぞれの支部大会で紹介させていただきます。

南極との交信

齊藤 一雄(JA8EJZ)函館市

初めて8J1RL南極昭和基地と交信したのは、1995年5月21MHz SSBで元JARL副会長のJA9BOH前川氏でした。屋根馬に3エレ八木で100W出力、OPの前川氏は積極的にJAを含め多くの世界中の局と交信して頂いた事を覚えています。それからは、毎年積極的に8J1RLと交信をする様にしています。

勿論、とても激しいブリザード等でANTが破損しQRV出来ない年もありました。

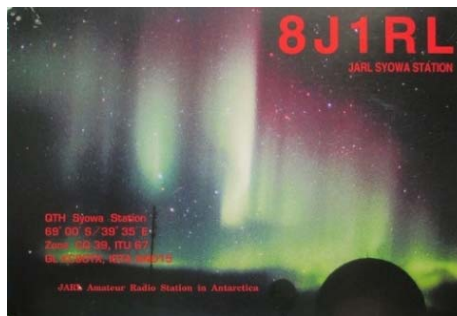
今年は、4月21MHzと5月28MHzとの2バンドを交信しLoTWで交信確認を得たところです。

南極とのレア交信としては、2014年の28MHz FM交信、2003年の8J1RF南極ドームふじ、また南極観測60年を記念して南極昭和基地から運用した8J60JAREが有ります。これは、日本で一番交信が難しかった特別局記念局ではないかと思います。以前は、南極みずほ基地やあすか基地から8J1RMでQRVしていた様ですが残念ながら私はQSOに至っていません。

現在も8J1RLは運用しており、出力は50Wですので聞こえていれば十分交信可能です。

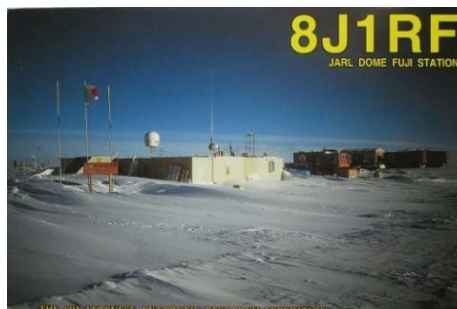
昭和基地との時差は6時間を考慮し是非、各局様挑戦を！！

8J1RL



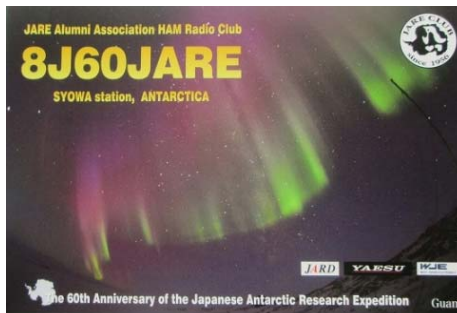
私の初めての南極との交信局

8J1RF



ドームふじ

8J60JARE



南極観測60周年記念局(第58次観測隊の昭和基地からの運用)

8J1ANT



南極観測50周年特別記念局(国内運用)

命を、生活を守った一本のアマチュア無線回線

函館地区救急法赤十字奉仕団

委員長 三澤 洋大(JF8NWJ)函館市

「三澤さん、奥尻の救援頼んだよ」日赤道支部事務局長、奈良崎氏からの電話で飛び上がった。今から 32 年前の話である、平成 5 年 7 月 12 日、午後10時 17 分、マグニチュード 7.8 の巨大地震、津波が奥尻島を襲い、壊滅的な被害をこうむった。被害あまりにも甚大であり、「奥尻復興は無理では」との解説が流布された。

当時私は「函館地区スキーパトロール奉仕団」の委員長を拝命、スキー場での事故防止、救護活動にあたっていた。後年、くだんの事務局長に聞く機会あり「なんでスキーの専科なのに」と質問、「あんたなら何でも」の回答にあきれた。

指令を受理、ただちに派遣の団員名簿作成、と本人了解とりつけ、5～6 班編成と記憶。奥尻にはフェリー船便との知識しかなく、現場到着の時間で苦慮していたら、神の助け、佐川急便がヘリコプター 2 機の無償供与、江差、追分会館広場を発着場として、奥尻とのピストン運航開始であった。

さて、32 年前、当時は「携帯電話」の存在は無く、電話回線は災害直撃のため使用不能、われらアマチュア無線の独断場と化した。奥尻との直通通信を容易ならしめたのは、日赤無線奉仕団の管理する「リピーター」の借用であった、これで小生自宅 2 階の事務所と「奥尻、災害対策室設置の青苗中学校」との無線回線が確立された。幸い、スキー場での無線機使用の経験が生かされた、この直通回線がその後の救援活動の迅速化に大きな貢献を果たしたことは論をまたない。

この無線回線の多目的使用のため私は終日、自宅部屋から離れられず、救援活動の初期段階はまさに無線機との同居生活

を強いられた。恥ずかしながら、活動一段落した後、入院生活に入った。「待ちわびる 身内の遺体上がる日を 余震のたびテレビに見入る」どなたが詠まれたものか忘れたが、被災状況の厳しさを肌で感じた記憶が鮮烈である。

無線での応答内容は読者皆様の想像にお任せしたい。ただ派遣の責任者として、余震収まらぬ被災現場で起居する団員の安否を心配する家族との連絡に力がいっていたのが記憶にある。

奥尻一江差への帰路もヘリコの使用が許された。ヘリは救援物資の積み込みを容易にするため、両側の引きドアは外されていた、パイロットは「皆さん、ヘリが海上を飛びます。ゆれが激しいため床のロープにしっかり捕まって」団員は「ここで落ちてはなるもか」と腕に力がはいったとの報告が笑いを誘った。団員は語る、「電柱に張めぐらされた電線に海藻が沢山引っかかっていた。どれほどの津波の脅威がすごかったか。」ふるえながら語ってくれた。(死者、行方不明者 230名、住宅全壊594戸 半壊 400 戸 漁船の沈没 676、破損 838「被害報告より。」)



できたてのおにぎりは、ヘリで奥尻に運ばれた。

(注)日本赤十字社北海道支部発行「平成 5 年北海道南西沖地震、救護、救援活動記録集」より

各局短信

今号も、会員の皆さんからたくさんのメッセージが寄せられました。ありがとうございます。NEW FACE の皆さん、どうぞよろしくお願いします。

各局 暑中お見舞い申し上げます。6エリアから冷涼な(・・?)函館に QSY しましたが 南も北も変わらない暑さですね！一昔前、一般家庭に冷房などなく、冷房車と表示されたタクシーが走っていました一説によると 11年周期の黒点活動最大期は 暑くなるとか。秋風が立つのが待ち遠しい私です。

JA6WHM/8 宮園 政春(函館市)

会員の皆様、日々の無線業務と言っても所詮、趣味ではありますが、楽しんでご活躍のことと拝察いたします。JA8LE、川久保です。

「えっ、そんな人、まだ生きてるの?!。」と言う皆さんの顔が思い浮かびます。来年啓蟄の頃には 90 歳として生まれ変わる予定でおりますが、どうなりますことやら。私は開局の当初から On-air ではアクティブなハムではありませんが、長年ハムを趣味として関心をもっていろいろなことを実験的にやってきた自負があります。

今は、SSTV、FT8、最近 FreeDV の送受信実験も終えて、通信体制は整いました。

On-air をアクティブにするには、アンテナが貧弱なことで寄る年波には勝てずです。実験的な通信のお相手なら可能です。

ほかの趣味と言えるかどうか、頭の切り替えにはナンプレ(数独)がいいと思っています。こんなハムです。今後とも「4649」、73

JA8LE 川久保 順平(函館市)

皆さん コンニチワ JA8DHR です。

最近の DHR の hamlife の紹介です
1:SSB(7MHz から 50MHz)まで ですが最近夏コンデションの様で昼は全然ダメ何も聞こえません PM5時頃からボチボチ聞こえ始めます。もっぱら運用は7MHz になります

私事ですが訳2年前に変なタイミングでニアマを取る事になり、現在は 200W 運用を楽しんでいます

さすが 200W 有れば余裕で QSO できます。7MHz は昔ほど混んでいません LongQSO ができます。

14MHz はまだまだAコールOM局が沢山出て優雅に話しています。良いですよ。

結果ニアマの運用局にはニアマに挑戦する事をお勧めします。昔と違い取る方法は色々有ります。

2:FT8:今は近距離が元気な様で国内とアジア系しか見えない時は PASS です。やはり南米&ヨーロッパ系が見える秋まで おとなしくします (^^)/

3: FreeDV:最近 freeDV なる Mode が話題になっています。7MHz では 7.2MHz のチョット下あたりでピービー聞こえているのがそれです。デコードエラーさえしなければ FM の localqsoと同じ感じで海外と QSO が OK です。

設備は FT8 の設備があれば OK です 遊んで見る価値大いに有り です

DHR も軽く CQ したら突然アルゼンチンの局がら CALL され焦り捲りましたが何とか QSO 出来ました。LOCAL の FM と同じ音質で D-STAR&C4FM より自然な音でした。やはりコーデックを ROM で固定するより SOFT で行うの

が正解の様ですね(絶えず VerUp できる)

4:ここが今回のハイライト

JARL 渡島檜山支部会員の皆様 眠っているHAMの機器は有りませんか(どうかで聞いたフレーム?)

スクラップ又はデッドストックの機器が有ったら一報下さい。何時でも回収にお伺いします。OLD マシンは昔欲しかったのですが金が無く諦めていました。その機器に会えると感激します。部品活用等などに是非 有効活用させて頂きたいと思ひます(*^^)v

回答は ja8dhr@jarl.com で頂けると嬉しい。

PS ja8dhr@outlook.jp も ok です
PS2:最近地震&津波など何かと騒がしい世の中です。IF起きた時 144 & 433 の MainCH で可能な範囲で一言声を出してみる様提案します。その為には mobile 機器&ハンディ機の整備をしておきましょう!

JA8DHR 甲谷 巖(函館市)

みなさん、こんにちは。JA8EJKこと河原です。今年の夏は昨年に増して暑い夏となり、私のところは、冷房なしでシャツクの室温が30℃越えの中、日々アマチュア無線業務に邁進しておりますが、みなさんのところは如何でしょうか。(7月29日原稿執筆中)

以前から思っはいたのですが、もうそろそろスマホのように同時通訳機能が無線機にも取り入れられてもよさそうに思うのですが、、、。優秀なAIも開発されてきていますし可能なのでは?。AIに詳しい方は挑戦してみたいはいかがでしょう。

私もカンバックしてから7年程経ちましたが、オンエアする時間帯がほぼ決まっているせいか、ファーストコンタクトの局はめったにいないですね。いつもお得意さんと世間話をしています。それでも時々50 数年ぶりの方から呼ばれることがあったりしてビックリしています。運用バン

ド`はHFですが、屋根上のケーブル類が煩雑になってきましたのでもう少し涼しくなったら整理しようと思っています。FT8をやっていると時々USB回線が瞬断を起こすのですが、アンテナの不整合の影響のようなので、試験的にコモンフィルタを入れてみようかとも思っています。

今年元旦から始まったモールズ講習会に参加させていただきましたが、時々ZOOM がフリーズしまして、講習の中身がズタズタになったりしましたが、後で録音を再生して凌いでいました。原因がNTT財産のNCU+ルーターでして、11年使用品を新品と交換してもらい復旧しました。

みなさんもいろいろ趣味をお持ちと思いますが、私はハム以外はアウトドアの趣味ばかりです。特に自転車は高校生の通学時からドロップハンドルのロードレーサーを乗っていました。最近まではイタリアのコルナゴで天気の良い日は大沼まで往復90kmを走っていました。最近怪我をしまして、自転車には乗っていません。自転車に乗っての怪我ではないのですが、しばらく脳に振動を与えられませんので、自転車人生はこの辺で終わりかなと思ったりもしています。もし自転車に興味がありましたらヤフーオークションの平均値でお譲りしたいと思いますので連絡ください。(080-2275-2917)



あと趣味といえば登山でしょうか。北海道の山はほとんど登りました。羊蹄山は年に3度は登っていましたが、山頂でヒ

グマの足跡が見つかったからは行っていません。

仕事の関係で福岡に住んでいたときには九州の山はほとんど登りました。九州で一番高い山は、屋久島の宮之浦岳ですが、ここも2泊3日で登ってきました。

アマチュア無線は移動運用は別として、シャックにこもりがちですよね。健康のためにもなるべく外に飛び出しましょう。終わり、73。

JA8EJK 河原 光雄(函館市)

目標であった今年のDXCCアワード記録です。

①ARRL DXCCアワードでオナロール完成(334/331)世界ランキング127位で微妙です。

②DXCCチャレンジ 2000 突破(満点は3400)世界ランキング 3074 位

③バンド別DXCCでは 10 バンド中、1.8 MHz帯と 50MHz帯を除く8バンド完成 50MHz帯は 79/75 で、あと 21 局。1.8MHz帯は現在ANT無しで全く無理の状態。…取合えず目標達成!… 心残りは 50MHz帯で挑戦途中です。

JA8EJZ 齊藤 一雄(函館市)

『無線機についていてほしい、こんな機能』という表題を見てふと考えました。

現在言語翻訳の先端ではほぼほぼ同時に表示できるところまで来ているようですが、そのうちにアマチュア無線にもそのような機能を持つ無線機が出てくるのではないだろうか。

相手の言語が日本語で聞こえ日本語で話した言葉が相手に対応する言語で送信される…賛否両論があるでしょうがそんな現実が間もなく来るのではないだろうかと思ってしまう。

XYL から『男の井戸端会議の何が楽しいんだろうね。』いつも言われるこれも、外国との井戸端会議になるかもしれません。外国語の出来ない当局にとってはそうになったら逆に楽しいかもしれませんね。

Callsign の確認が終わって話し始めるときは【言語対応】のボタンをポチっと、話し終わって相手の Callsign を言う時は再度【言語対応】のボタンをポチっと……当局の生きているうちにはないと思いますがあながち夢物語ではないような気がします。

JA8FHM 佐藤 正市(函館市)

或るパーツが欲しく雑品箱から旧受信機を取り出し、解体を始めた。初めは簡単に考え、30 分位もあればよいと考えていたが、そうはいかなかった。

物作りにも順序があるさまだが、壊し方にも手順が有りそうだ。簡単に考えたか? 時間的には半日かかった。

取り出したパーツ、何つになったら製作に使うのかなあー。自分でおかしく笑っていた。

JA8HJZ 松坂 誠一(函館市)

蔦屋のイベントに参加してみて、小さな子どもでも意外とモールスゲームでがんばっているのを見ました。しばらくCWから離れている私ですが、もう一度挑戦してみようかなあと思いました。

JA8MAC 川口 安彦(函館市)

昨年の秋、熊石から函館の方に引っ越してきました。やっと2段GPを上げることができました。函館近郊の皆さんにはこれから、お世話になりますが、どうぞよろしくお願いします。

JA8VJU 山田 晴雄(函館市)

GW中にアンテナ整備をする予定でしたが、5月2日に骨折して頓挫。治癒したので早くやろうと思っているのですが、仕事&支部の行事が忙しく、未だ手を付けられていません(泣)。今年の夏は連日真夏日なので、こうなったら秋涼しくなってからやろうかと考えています。それと、娘が2月に開局したのですが、普段なかなか電波を出さないの、夏休み中に移動

運用に連れて行ってどうにか CQ を出させようと画策中です。

JA8VKV 小野田 伸(函館市)

渡島檜山支部の皆様、こんにちは。この度古いDX-QSLを見る機会があり、懐かしく数多くのQSLを見ながら感じた事はエアメール、グリーンCD、JARL経由など、有効に活用させて頂き感謝しており、海外のQSL 3年位で届くのが当たり前の時代でした。世界各国からのQSLの中でも、地球の裏などより届いたカードは貴重です。皆様も沢山集められて下さい。

JA8WNR 清水 深海(北斗市)

毎日無線を楽しんでいます。開けていればハイバンド、開けていなければローバンド。「もっと2mでも声を出さなくちゃ。」と反省です。

中学校3年生の時に開局。この9月で開局50年を迎えます。私の開局の第一声はJA8XKD 神山さんとの交信。今でも、汗をかきながらマイクを握っている私にかけていただいた「おめでとう」の言葉が心に残っています。ハムログの一番上で、ずっと輝き続けます。

JH8CBH 佐々木 朗(函館市)

3年前からhQSLカードを始めています。プログラムの「プ」の字も分からない私に懇切丁寧にご指導くださった佐々木支部長に感謝しています。ボケ予防も兼ねて、楽しみながらFBなカード作成に努めています。

JH8EEO 高木 亮一(函館市)

NEW FACE

昨年12月に宮城県大崎市から函館市に引っ越してまいりましたJH8LKA鳥谷部(とやべ)です。現在は借家でハンディーのみのため、電波を出せずにあります。何とかアルミサッシを通過させてFT8に出たいと考えております。皆様よろしくお願いたします。

JH8LKA 鳥谷部 晃綱(函館市)

かつて函館には、国鉄青函連絡船をはじめ、漁業無線の基地として、たくさんの通信士がいました。通信士の中には、アマチュア無線を楽しんでいる方も多く、CWがかなりアクティブな時代がありました。函館モールス同好会は、そのような時代、故JA8ICG 菊池さんのもと、モールス好き仲間が集い、研修会や施設見学、ロールコールなどを行っておりました。

時代の流れと共に、通信士も少なくなり、モールス通信もほぼアマチュア無線だけになってしまいました。

しかし、今でも、和文大好きの仲間が毎週ロールコールを行っております。毎週月曜日よる8時から、144.10MHzで開催しておりますので、是非ご参加下さい。どなたが参加してくださっても大歓迎です。

また、和文に興味のある方は是非連絡いただければと思います。

JH8MCT 恒吉 重正(函館市)

北海道ハムフェア特別記念局8J8HAMで全国のみなさんと交信することができ、アマチュア無線の楽しさを改めて感じています。パイルアップが続き、のどがかれるほど交信したのもすばらしい思い出となりました。

JH8NNW 中澤 隆行(函館市)

訳有って自宅では音声通信が出来ない為に移動運用中心で交信して参りましたが、体の調子の関係上、移動運用の回数を減らしており、移動したとしても隣町が基本で渡島中山峠は越えないようにしています。其の為、自宅でのFT8による運用が中心と成っています。

外国語を話せなくてもモービルホイップで30Wくらいの出力で、南米や欧州方面と通信出来るFT8は素晴らしいと実感しております。

JH8UUR 長内 弥(江差町)

=壊れたかな無線機=

連日暑い日が続く中、道内各地で異常

と思われる状態が続いています。避暑地のはずの北海道が……。函館も暑い。我が家は 1 階がエアコン有り、2 階はサウナ(笑)同様、無線どころではない。スイッチ入れても何も聞こえません。朝・昼・夜とにぎやかな 7MHz でさえだめ。壊れたかなあと思ったら突然 QSB?AGN。毎日この状態です。なのでしばらくの間お休みします。各局、熱中症に気をつけてください
JR8ARS 宮嶋 終(函館市)

JE8OGI 村田氏が率いるノースウィンドメンバーの一人として、3.5MHz で、自分なりに活躍している JR8CSA 戸波です。

体が不自由なため、何をやるにもご迷惑をかけていること、皆様に助けていただいていること、本誌面をお借りして、お詫びと感謝申し上げます。

さて、最近アンテナチューナを入手し、隣の生垣に引っ掛けたロングワイヤーを使い始めました。今まで使っていた軒下短縮逆Vの有効帯域が30kHz程度だったことに比べ、ほぼ全域で使えることに加え、地上30mもあることで、かなり良い感じでした。今まで、コンテストは3.5シングルしか参加できませんでしたが、今後はいろいろなバンドに参加できると思います。

最後に、津軽海峡コンテストのさい、応援いただき、ありがとうございました。

JR8CSA 戸波 信章(函館市)

局免が9月で満了となるため、電子申請の再登録と再免許申請をしました。(再登録は上手く行きましたが)過去データの引継ぎに少し手こずるも新しい局免を何とかゲット出来ました。

FT8等に使用出来るインタフェース機器の入手済み。但し運用に至らず。1200MHzのアンテナ系は準備しましたが、設置と運用まで至っていません。準備した機器を活用するのが、今年の目標です。

JE8BJO 高田 尚喜(函館市)

いまさら悩んでいまして。CWでのプチ移動運用をしたいと夢見ています。正直なところ、自分としてはQSLカードは無くても構わないのですが、相手局が皆そうであるかどうか分かりません。以前、アクティブに出ていたYさんは交信した全員に発行していると言っていました。CWで「ノーカードでのQSO」は有りでしょうか。この場合は何と打つのでしょうか？有り得ないことでしょうか。CQを出して、仮に「ノーカードで」と打った途端にだれも居なくなったりして……。因みに私は、紙カード、手書きです。

JE8HLA 伊藤 秀夫(函館市)

モクリンアンテナ、クロスアンテナ、ループアンテナ、ヘンテナなど、アンテナづくりに夢中です。「こんな形なのによく飛ぶなあ」というアンテナもあります。今は、アンテナづくりに夢中です。

JE8MXZ 石中 暢(函館市)

開局40年目の私の楽しみ方は、コンテストに参加し渡島支庁などをサービスすること、All Japan Award ポイントアップのため3.5~430MHzの多くのバンドにQRVすることです。運用モードはCWやFT8が多いです。現在保有のAJA 8750をどこまで伸ばせるか挑戦中です。

JE8NTJ 渡邊敏夫(七飯町)

デジタル系が好きで、これまではFT8に凝っていましたが、最近は、WIRES-Xにはまっています。自分でノード局を立てるため、パソコンと格闘する毎日でした。

何とかうまくいって、今はたくさんのフレンド局もできました。みなさんも挑戦してみませんか。

村田 隆 JE8OGI(函館市)

1990年に開局して移動運用と固定からとアワード等、色々チャレンジしていましたが、体が動くうちに、終活に入りま

した。

アンテナ、タワー等解体撤去、無線機処分などしている今日この頃です！！

JG8KKC 岡山 豊(木古内町)

当局の無線での一番の思い出は 25 年位前、冬期転勤で 5 エリア徳島県阿南市から 7 メガで JH8CBH 局と交信できたことです。その頃は HF 始めた頃で徳島から函館と繋がったことが嬉しかったのを今でも鮮明に覚えています。

休みになれば 2 メーター、430 で徳島県内の車で行ける山まで行って CQ,CQ 遊んでいました。その時 QSO した局と木古内固定からつながった時は本当にうれしかったです。

JJ8MVL 佐々木 信一(木古内町)

今年、HF 帯の 14MHz と 18MHz の自宅用モバイルアンテナを新調しました！

より安定した通信を目指し DX 交信などますます楽しみです。CW や D-STAR といったモードにも積極的に挑戦中なのでお声掛けを宜しくお願い致します。

JK8TYW 西川 貴博(函館市)

各局の皆様、いつもお世話になっております。ほぼ毎日どこかのバンドでアマチュア無線運用を行なっています。5 月からの夏場は 50MHz がいつも楽しみです。FM SSB FT8 運用などです。常置場所

運用は 7/18/21/50/144/430 オールモード(C4FM 対応)。また「FreeDV」運用も行なっています。引き続き移動運用も続けていきます。

皆様、これから引き続きよろしくお願いします。

JM8RWB 池内 陽一(函館市)

NEW FACE

今年 7 月下旬に、私のもとにアマチュア無線局(2AF)の免許状が届き、事前に準備しておりました新しい無線機をようやく使用できるようになりました。防護指針作成の際には、多くの先輩方に支援いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

こうした経験を各局短信を通じてお伝えできることを、大変光栄に思っております。

JM8UUY 岩井 孝宏(七飯町)

NEW FACE

皆さん初めまして。父に勧められて去年、高 1 の 10 月に四アマ講習で免許を取り、今年 2 月に開局しました。まだ交信した数は少ないです。津軽海峡コンテストのときは 13 局と交信できて、管内 144 メガで 8 位になることができました。

ロールコールのときは、これからもちよこっと声を出したいと思います。どうぞよろしくお願いします。

JM8VBC 小野田 妃(函館市)

第50回 JARL 渡島檜山支部講師



演題「南極観測と8J1RLの運用」

第43次及び第61次 日本南極地域観測隊 通信担当

氏家 宏之さん

・現在は、全国陸上無線協会東北支部勤務 宮城県在住

・好きなものはアマチュア無線 JH7JCX、DIY、ドライブ

「家族や自分がどうなろうと最後まで帰ることができない。」そんな環境であることを知りながら南極隊員になった氏家さん。越冬隊員は寝食を一緒にする仲間。1年間以上限られたメンバーで生活する。越冬開始当初、各自に渡される UHF 無線機は携帯電話の無い南極での命綱となる。厳しい生活ではあるが、隊員の福利厚生としてバーもあれば多少の娯楽設備もある。アマチュア無線局の運用は、隊員によるクラブ活動うちの一つ。氏家さんはアクティブに運用した。オーロラ、満天の星、寒さの中生き抜く動物たち。心が洗われる日々だったそうだ。「南極観測は地球環境を考える貴重な研究」と氏家さんは語る。

支部大会会場へのアクセス

車で 新函館北斗駅から約10分 函館駅から約20分

バスで 函館駅、新函館北斗駅から「東前」下車



支部大会前夜祭

- 1 期日 令和7年9月13日(土) 午後6時から午後8時半
- 2 場所 畑野商店ゆったりーな
函館市湯川町 3-3-26 0138-59-1378
- 3 会費 3,000円(予算の範囲で飲み放題)
- 4 内容 自己紹介、アマチュア無線クイズ
ビデオ上映
- 5 申し込み先 支部長、支部役員
9月9日(火)締切 電話・メール
佐々木支部長 090-8277-9744



編集後記

少しずつ秋の風を感じる季節となりました。お空の秋のコンディションでしょうか。今年は50周年ということもあり、スペシャル講師をお招き致しました。支部大会で、前夜祭で皆様にお会いできますことを楽しみにしています。JH8CBH

JARL 渡島檜山支部会員の動向

	正員	社団	准員	家族	合計
R6.7	180	4	31	5	220
R7.7	176	4	28	5	213
増減	-4	±0	-3	±0	-7

※正員には、新規加入者も数名おります。